



朝風

平成31年度
学校報No.6
令和元年5月24日
大仙市立
大曲南中学校

陸上競技場に南中生の思い駆け巡る!



応援団はエールで出迎え



高橋航大主将からの感謝の言葉

「同じ場所で、同じ時間に、同じ気持ちで、同じ感動を共有させたい。」という趣旨で、本校としては初めての陸上競技大会全校応援を実施しました。5月22日、1日限りではありましたが、選手、応援団ともに自分自身のありったけの力を発揮できました。応援団の声を追い風にして競技に臨む選手、そして、その選手の姿に

感動し、さらに声を張り上げる応援団。両者の熱い思いが陸上競技場を駆け巡りました。大会本部にいらした中学校体育連盟会長からも、「大曲南中の応援が素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただいています。また、大会が終了して帰校した選手を応援団が出迎え、互いの健闘を称え合うなど、これまでにない交流もみられました。結果は男子総合が13位、女子総合が10位で、昨年以上の成果を上げることができました。(入賞者については各学年報に掲載しています。)



生徒玄関の掲示



三年生の教室

校訓 文武不岐

学習と部活動の両立を意味する本校の校訓「文武不岐」。この校訓を胸に抱きながら、子どもたちは日々を過ごしています。郡陸上翌日の24日、3年生は実力テストに臨みました。また、先週の16日には1回目の全校基礎学力テスト(国語)が実施されています。全校基礎学力テストは、国語、数学、英語の3教科で1年間に各2回行い、合格点は80点。満点者等には賞が与えられます。



第1回基礎学力テスト



3年生 実力テスト

「ごめんなさい。」「ありがとう。」

毎朝、あいさつ運動の生徒と一緒に校門に立っていると、様々なことに気づかされます。横断歩道で快く止まってくださるドライバーや本校の生徒に穏やかな表情を見せてくださる方が多いこともその一つです。本校の生徒が、地域の方々に愛されていることを実感できます。また、忘れ物を届けてもらった時に、ほとんどの生徒が家族に対して「ごめんなさい。ありがとう。」と言っている光景には微笑ましさを感じます。忘れ物を届けてもらうことは、決してよいことではありません。しかし、人に迷惑をかけてしまったときや、助けてもらったときにお詫びや感謝の言葉を素直な気持ちで表現することは社会生活を送るうえで必要不可欠です。身近な家族であっても、いや、だからこそ大切にしてほしいと思います。